

令和3年1月14日
循環型社会課

1 目的

近年多発する気象災害（台風、大雨等）や、地震等の大規模災害において発生する災害廃棄物の処理について、処理の主体となる市町の現場対応力の向上及び関係機関との連携強化を目的として、初動対応の中でも特に重要となる仮置場の設置・運営に係る模擬訓練を、福山市の協力を得て開催した。

※ 出水期前の5月に実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期し、11月に実施した。

※ 研修内容も、屋外で模擬訓練を実施し、座学研修は専門家による講義を録画したDVDを事前に配布して行うなど、感染予防対策を徹底した上で実施した。

2 日時

令和2年11月20日（金） 10時30分～15時30分

3 訓練場所

福山市クリーンセンター（福山市箕沖町）

4 参加者

県、県内23市町及び廃棄物業界団体（広島県資源循環協会、広島県清掃事業連合会）職員（合計93名）



平成30年7月豪雨における一次仮置場

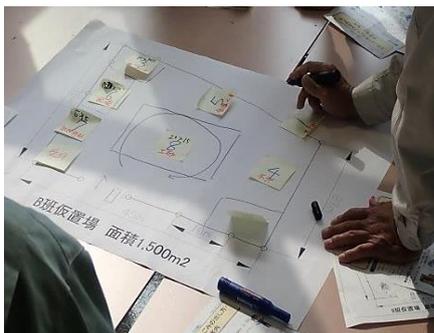
5 内容

(1) ねらい

- 一次仮置場は、災害廃棄物を一時的に搬入・保管する場所であり、被災地から災害廃棄物を迅速に撤去するため、その設置・運営は初動対応の中でも、非常に重要である。（平成30年7月豪雨やその後の全国的な災害においても仮置場の設置が課題となっている。）
- このため、令和2年6月に、災害発生時に、各市町において速やかな一次仮置場の開設が可能となるよう、一次仮置場を設置し運営する手順を取りまとめた「一次仮置場の設置運営の手引き」を策定したところであり、このたび、市町の意見も踏まえ、手引きを活用した仮置場設置の模擬訓練を実施した。
- 訓練を通じて、必要な業務内容等について理解を深めるとともに、訓練で得られた課題等を踏まえ、今年度中を目途に、昨年5月に作成した「災害廃棄物処理に係る市町等初動マニュアル」の見直しを行い、来年の出水期における災害発生に備える。

(2) 訓練内容

福山市クリーンセンターの敷地の一角を仮置場と見立て、作成した手引きの処理フローに沿って、仮置場で必要となる一連の業務を疑似体験した。



①レイアウト検討・住民広報資料作成



②仮置場の設置



③仮置場の運営（廃棄物の積み下ろし）

(参考) 仮置場のレイアウト例

